

平成29年10月4日付【環境新聞】
〈公益社団法人移行へ〉
定款の変更など決議

協 公益社団法人移行へ
水コ 定款の変更など決議

全国上下水道コンサルタント協会は先月28日、東京都渋谷区のげんほプラザで第35回臨時社員総会を開催し、一般社団法人から公益社団法人への移行に必要な定款の変更と規則の改正について決議した。

公益化によって「業界の発展」から「職業の発展」を目指すことを協会の理念に掲げ、定款の目的（第3条）に反映し、目的の見直しに伴い、事業（第4条）を一部修正、公益性の高い順に条項を再整理した。規則については、正会員と支部会員の位置付けを明確にするため、条項や標記などを整理。

同協会は今後、公益認定申請の手続きを進め、



野村会長

来年4月の公益社団法人への移行を目指す。

公益社団法人への移行について野村喜一会長は「これまでも公益事業とみなされる活動に取り組んできたが、公益社団法人となることで名実共に備わることになる。公益性の高い事業に取り組む団体であることは、発注者である地方公共団体にとって安心感があり、それが仕事をする上でも優位に働く」とその意義について述べる。同時に、「よりいっそう社会的責任を果たしていきたい」と決意を語った。

一般社団法人から公益社団法人への移行については、6月の定時社員総会で決定。移行に向けて倫理綱領も改正した。移行後の取り組みについては、公益性の高い事業や支部活動の充実を図るとともに、ホームページなどを通じた情報公開も推進していく考え。